

2024 年度 JBA 公認 B 級審査会

参加審判員 各位



今年度の B 級審査結果について（報告）

（一社）福島県バスケットボール協会

審判委員会インストラクター部会

部会長 芳賀 聡

2024 年度 JBA 公認 B 級審査会に参加された審判員の皆さん大変お疲れさまでした。

先日の県総合スポーツ大会において審査を行いました。今年度は別添のとおり 13 名の方が合格されました。合格された方は本当におめでとうございます。

また、残念ながら不合格だった方には、ぜひ、来年度こそは合格していただきたいと考えております。

今年度の審査会における私たちインストラクターの観点や感じたこと、そして、今後皆さんに取り組んでいただきたいこととして以下の 3 点をお伝えします。皆さんの今後の活動の参考にしていただければ幸いです。

まず、今年度も県大会を主審として任せることができる力を有しているかどうかを基本的な基準として審査を行いました。成年と高校というカテゴリーの異なるチームのゲーム、あるいはチーム間の実力差が大きいゲームなど、普段吹き慣れないカテゴリー、レベルのゲームを担当していつも通りの力を発揮できなかった方もいると思います。ただ、例年、この審査会は同大会を用いて行っております。審査会に向けては、高校、クラブチームのゲームで自己研修を重ねて臨んでいただく必要があると感じました。この経験の差がコート上で明らかになったものと考えます。どのカテゴリーのゲームでも主審を務められるよう日頃から研鑽を重ねてください。

次に、これも昨年度と同様ですが、判定力の有無が結果を大きく左右したと考えています。吹く、吹かない含めて、コート上で瞬時に決断できるかどうか、素直に判定できているかどうかは問われました。私たちインストラクターは、皆さんの普段の姿勢、努力を想像することはできても、やはりコート上での結果のみで判断せざるを得ません。コート上で吹くべきものを吹く、吹く必要のないものを吹かない、多少課題はあったとしてもこうした当たり前のことができている方か、今後成長することができる方かを見極めた結果、今回の合否が決ま

ったと言っても過言ではありません。

最後に、ここ数年間の参加審判員の皆さんのプレゼン、メカニクスは着実に向上しています。引き続き、身近にいる県内の上級審判員の姿から、さらには、トップリーグなどを担当する審判員の姿を映像などで学び、自身の技術力、判定力を伸ばしてください。

一方で、3POにおける動き（走り方や歩き方）や所作（笛の吹き方、間の取り方、ジャスチャー、声の出し方）は、説得力につながるプレゼンと言われていますが、今回の2POの審査ゲームにそのまま3POの動作を当てはめて審判される方が相当数おりました。このことは一概に悪いということではありませんが、2POに求められるより細かく、機敏な動き、そして場面に応じて走ることでなくていいというわけではありません。

具体的には、トレイルからセンターへの動き、位置取りを求められる場面で、ハイトレイルのままプレイをとらえるケース、リードで右側にローテーションしたままボールが左側に展開されても戻らないケース、アングルを確保するために必要な一、二歩の動きを省いてブラインドから判定するケースが見受けられました。また、ゲームの進行が遅れているにもかかわらず、どんな場面でもゆっくりと歩く、プレイヤーやTOは再開の準備が整っているにも関わらず、審判だけがコール、レポート、リスタートまでの一連の動作に時間をかけて周囲を待たせているシーンなども見受けられました。以前の2POのようにすべての場面でラン・レポート・ランを求めるものではありませんが、ゲームに応じて、ゆっくりと、堂々と振る舞う場面と、テンポよくスピーディーに進める場面とを使い分けることも審判員の大事な技術であり、仕事であると考えます。先日の審査会では、一試合1時間20分で終わることが求められました。こうした部分のクロックコントロールも意識してください。ゲーム全体、さらには大会全体を俯瞰してコートに立つということは、ゲーム中の細かい部分への目配り、気配りにもつながります。ぜひ、場面に応じて引き出しを使い分けることができる審判員を目指してください。

B級のライセンスを取得するという事は、今までであれば意識する必要のなかった細かいことも意識してゲームに臨む必要があるということです。それだけ責任が大きい立場になりますが、一人でも多くの方にB級審判員になっていただきたい、さらにはA級、S級審判員を目指す方が出てくるというのがインストラクター部会の願いでもあります。

審判員の活動は、報われないことも多く、負担も大きいかと思いますが、多くの審判仲間と切磋琢磨することを通して皆さん自身が成長できる場になることを期待しています。

今後もチーム福島の仲間として一緒に頑張りましょう。